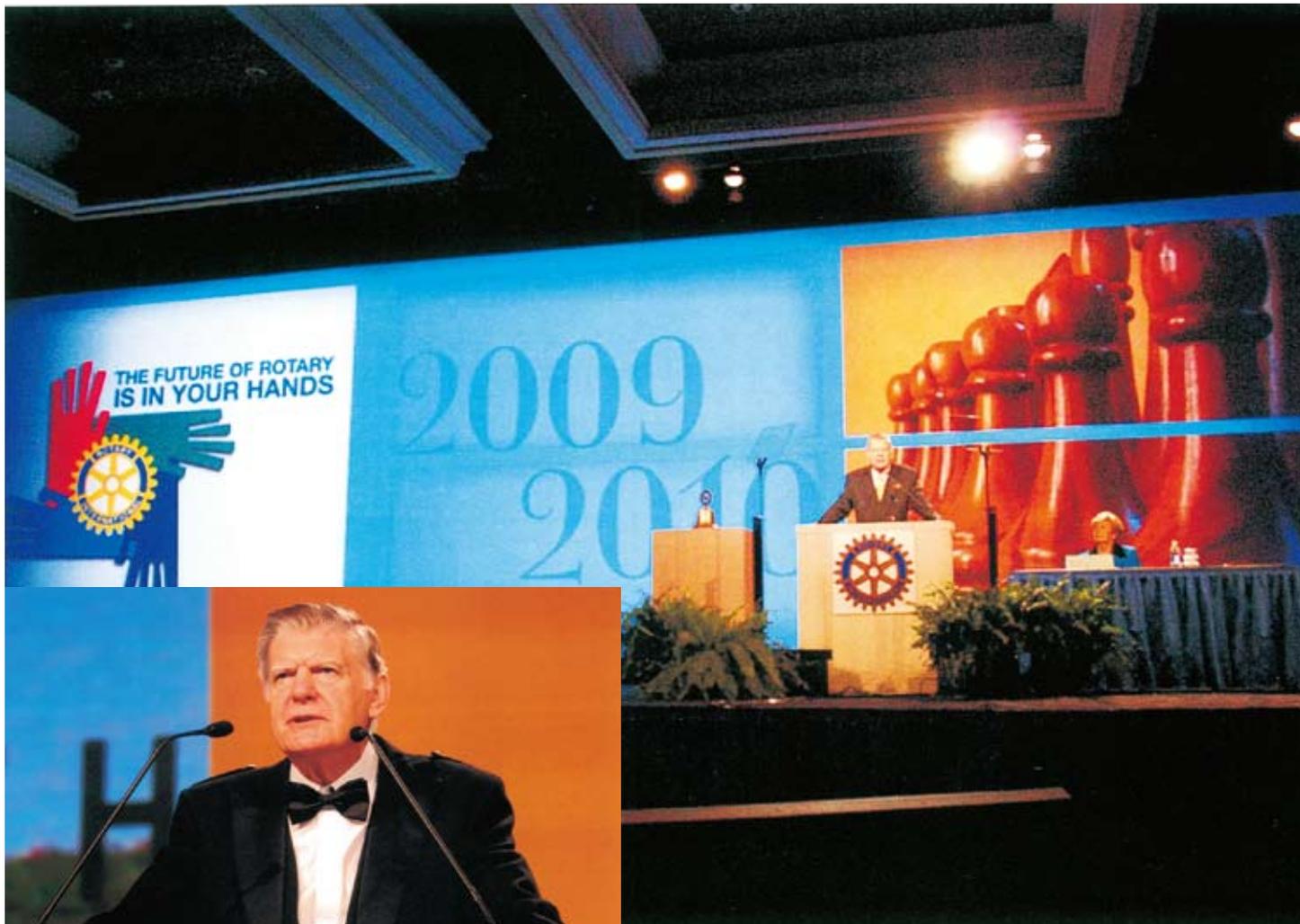




GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2570



ロータリーの未来はあなたの手の中に ■国際協議会でのジョン・ケニー RI 会長エレクトご夫妻



Contents

RI 会長メッセージ.....	2	地区役員組織表.....	14
ガバナーメッセージ.....	5	第 2570 地区予算.....	16
直前ガバナーの貢献を称える.....	10	半期地区分担金・送金カレンダー.....	17
新ガバナーのスタートに期待して		公式訪問日程・会員増強セミナー報告	18
地区役員の紹介.....	11	地区正副幹事の紹介.....	19
ガバナー補佐・会長・幹事の紹介.....	13	7月・8月のスケジュール・文庫通信	20

国際ロータリー第2570地区
2009-10年度ガバナー
加藤 玄静

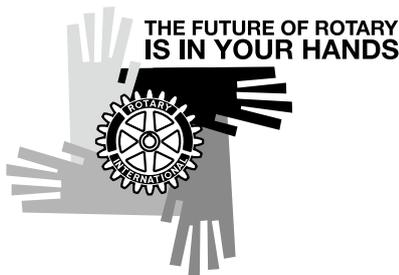
ガバナー事務所
〒367-0041 埼玉県本庄市駅南2-2-1 埼玉グランドホテル本庄2F
TEL:0495-22-8035 FAX:0495-22-8036
E-mail : info2009@mail.rid2570.gr.jp



2009.7.1

THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

ロータリーの未来はあなたの手の中に



2009-10年度
国際ロータリー
会長 ジョン・ケニー



一世紀余りにわたり発展し続けてきたロータリーの奉仕を振り返るとき、私たちの未来は、苦境にある人々に希望をもたらし、争いの絶えない世界に平和をもたらす幾世代ものロータリアンによって末永く確かなものとなるに違いないと胸を張って言えます。私たち一人ひとは、いわば過去を未来へとつなぐ鎖の輪のような存在で、大いなるロータリーという伝統の一部を成しているとたとえることができます。

この鎖が解けることなく永続していくためには、個々の輪が強くなくてはなりません。ロータリーの未来への鎖を堅固なものに鍛え上げることは、私の責務であり、皆さんの責務です。今年より来年、また、来年より再来年、さらにロータリーを強くしていくことは、私たちの責務です。また、ロータリーが、明日、次の新たなチャレンジに取りかけられるよう、今日、ポリオのない世界を築くという約束を果たすことも、私たちの責務なのです。

マハトマ・ガンジーは、かつてこのように言いました。「未来は、私たちが現在成すことによって決まる」第二世紀においてもロータリーの発展を望むのであれば、現状に甘んじているだけでは十分とは言えません。これからの長い道程に備えて地図が必要となりますが、私たちはその地図をすでに携えています。

国際ロータリーは確かな未来を築くため、世界中のロータリアンから協力を得て、7つの優先項目を掲げた長期計画を立てました。今、この計画を実行に移すときがやってきたのです。

- 「**ポリオを撲滅する**」が、私たちの最優先事項です。募金のチャレンジを通じて、この重要な仕事を完遂し、世界に対して約束を果たすために、私たちはリソースの提供というかたちで力になることができます。
- 「**ロータリーに対する内外の認識と公共イメージを高める**」は、ロータリーが新会員を引きつけ、他団体からの協力を得ることにつながります。ポリオ・プラスでロータリーは世界の表舞台で活躍するようになりました。今後は、地元と世界における奉仕活動をメディアと地域社会に広め、国際的な地位を築いていくときがやってきたのです。

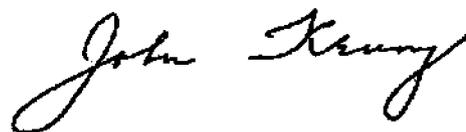
-
- 「**他者に奉仕するロータリーの能力の増大を図る**」は、ロータリーの使命の核心に触れるものです。四大奉仕部門に沿って時間と才能と熱意をこれまでより少しだけ多く捧げるなら、すべてのロータリアンがこの目標に向けて貢献できます。2009-10年度も、近年、クラブが取り組み続けている重要な問題、すなわち、水、保健と飢餓救済、識字率向上の分野における奉仕活動に専念するよう、ロータリアンに呼びかけていきます。
 - 「**質的にも量的にも会員組織を世界的に拡大する**」は、重要な優先事項です。これは、ロータリーが達成すべき目標のすべてが会員をよりどころとしているからです。資格ある新会員をもたらすことは、私たち一人ひとりの責務です。しかしながら、この責務を果たしているロータリアンはわずかです。ほかの人々にクラブへの入会を勧め、会員を増やすことができるのはロータリアンしかいないのです。
 - 「**ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調する**」は、ほかの奉仕団体や人道団体とロータリーとの違いを明確に分けるものです。職業倫理への高い水準を保ち、日々実践することによって、私たちは同僚や従業員、顧客はもちろんのこと、競合相手に対しても模範を示すことができます。
 - 「**国際ロータリー内の指導的才能を最大限に活用し、育成する**」は、ロータリーの未来にとって欠かせない要素です。私たち一人ひとりが、なんらかのかたちで指導的役割を担うべきです。クラブレベルで委員会の委員長や奉仕プロジェクトの委員を務めたり、地区レベル、国際レベルで活躍するなど、さまざまな役割があります。すべてのロータリアンは職業において指導的な立場にある人々ですから、ロータリーにおいてもこの指導力を発揮すべきです。
 - 「**組織全体を通じて継続性と一貫性を保つために、長期計画の手順を完全に実施する**」は、クラブ、地区、国際レベルで毎年指導者が交代する際に、引継ぎが効果的に行えるようにすることが目的です。

この長期計画はRI理事会が承認したものではありませんが、これを実施するのは皆さんです。RI会長が、皆さんのクラブに入会するようにと新しい会員を誘うことはできません。また、RI理事会が、ポリオ撲滅の支援に向けて、皆さんの地域で募金活動を企画したり実施したりすることもできません。同様にシニア・リーダーが、皆さんの職場でロータリーの倫理規範を実践することもできません。すべては、皆さん自身が実行しなければならないのです。ロータリーの未来はあなたの手の中にあります。

一人ひとりのロータリアンに自らの責務を胸に刻んでいただくために、この真実を2009-10年度のテーマとして選びました。かのウィンストン・チャーチル卿は、「偉大さの代償は責任だ」と述べています。ロータリーは偉大な組織です。私たち一人ひとりが課題に立ち向かい、未来に対する責任を果たすなら、ロータリーはさらに素晴らしい組織へと発展する可能性を秘めているのです。

ロータリーにおいては、「ロータリアン」という肩書きの下、各会員に仕事が与えられています。私たちの任務は、地元と国際社会において必要とされる奉仕を提供すること、そして、事業と専門職務に携わるリーダーを新会員として誘い、地域社会で好ましいイメージを築きながら、クラブの器を広げていくことです。ロータリアンとしての私たちの職務には、職場と私生活において倫理的行動の規範を示し、クラブと地域社会においてリーダーの役割を務め、ロータリーの最優先事項であるポリオ撲滅を全面的に支援することも含まれています。

ロータリアンという仕事には、計り知れない恩典があります。私たちは、かけがいのない親睦を享受し、他者のために尽くすという個人的な生きがいを得ることができます。皆さんがロータリーとその力を信じるのであれば、今こそ立ち上がり、全身全霊でロータリアンとしての仕事に全力投球するときです。ロータリーの未来はあなたの手の中にあるのです。



ジョン・ケニー
2009-10年度 国際ロータリー会長

経 歴

ジョン・ケニー（スコットランド、グランジマウス）
2009-10年度 国際ロータリー会長
2008年ロサンゼルス国際大会推進委員会副委員長（2007-08年度）
ロータリー財団管理委員（2000-04年度）
国際ロータリー執行委員会委員長（1996-97年度）
国際ロータリー理事（1995-97年度）
RIBI会長、（1992-93年度）
RIBI副会長、（1991-92年度）
地区ガバナー（1984-85年度）

スコットランドのグランジマウス・ロータリー・クラブに所属するジョン・ケニー氏は、地元の法務学部長、裁判官、公証人を務めた経歴の持ち主です。スカウト活動では、東欧における新しいスカウト・グループの結成に貢献し、その努力が認められて功労賞を受賞しています。スコットランド教会では長老の役目をはじめ、セッション・クラーク、長老会長老を務めてきました。ケニー氏はまた、女王エリザベス二世より地区の副知事に任命されました。フォースバレー青年商工会議所およびスコットランド青年商工会議所連盟では会長を、国際青年会議所では総弁護人を務めました。

1970年にロータリアンとなってからは、グレート・ブリテンおよびアイルランドの国際ロータリー（RIBI）の会長と副会長を務めました。そのほか、RIにおいては、理事、執行委員会委員長、ロータリー財団管理委員、研究会モデレーター、地区ガバナー、国際大会委員会副委員長、グループリーダー、会長代理、各種委員会委員長ならびに委員を歴任してきました。また、規定審議会には、代表議員、委員、議事運営手続の専門家として出席した経験があります。

ロータリー財団の大口寄付者ならびに遺贈友の会会員であるケニー氏は、功労表彰状と特別功労賞の受賞者でもあります。

ケニー氏は1965年にジューン夫人と結婚しました。

2009－10年度 国際ロータリーのテーマ

「ロータリーの未来は あなたの手の中に」



国際ロータリー第2570地区
ガバナー 加藤 玄静

2009年1月19日、アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴ市で開催されました「国際協議会」第一日の本会議冒頭、2009－10年度ジョン・ケニーRI会長（スコットランド）は次のように述べられました。

ただいま、この会場を見渡し、私が目にしているのは「未来」、「ロータリーの未来」です。地球上にくまなく存在する「3万3千の地域社会の未来」です。私には、その未来が、そして「より良い世界への希望」が見えます。

96年前の1913年、ニューヨークのバッファローで開かれたロータリー大会で、ポール・ハリスはこのように言いました。「よきロータリアンとなるには、昨日より今日の方が多くの努力を伴います。そして、今日より明日の方がもっと多くの努力が求められるでしょう。」

皆さんがそのロータリアンです。ロータリーの明日のリーダーです。1913年にポール・ハリスがロータリアンに向かって発した言葉が、今、皆さんに向けられています。

- ・ロータリーの要（かなめ）はクラブです。
- ・ロータリーでの役職は毎年変わるが、ロータリアンは変わらずロータリアンです。
- ・幾世代ものロータリアンの肩の上に立っている私達には、ロータリーの未来を決定する責務がある。

この理由を以て、年度のテーマを

THE FUTURE OF ROTARY
IS IN YOUR HANDS

「ロータリーの未来は、あなたの手の中に」と発表されました。

「国際協議会本会議のテーマ」

2009-10年度「RIテーマ、強調事項」を受けて、9回の本会議と14回のセッションが研修リーダーを中心に行われました。これらは本年度の最重要課題でありますので、順を追ってテーマと講演者を紹介させていただきます。

- ・ 会員増強 …………… RI会長 李 東建
- ・ 水・保健と飢餓追放 …………… ロータリアン行動グループ委員会副委員長 ロン・デンナム
- ・ 識字率向上 …………… RIBI副会長 デビットWファウラー
- ・ 今日における私達のロータリー財団
…………… ロータリー財団管理委員長 ジョナサン・マジアベ
- ・ 未来の夢計画 …………… ロータリー財団副管理委員長 ロン・バートン
- ・ 2009-10年度ロータリー財団目標
…………… ロータリー財団管理委員長エレクト グレンE・エステスシニア
- ・ 「毎年あなたも100ドルを」が意味すること
…………… ロータリー財団地域コーディネーター ブレンダ・クレシー
- ・ 皆様のRI …………… 事務局国際ロータリー事務総長 エド・フタ（布田）
- ・ 職業奉仕・忘れ去られた部門 …………… 元RI会長 ラジェンドラK・サブ
- ・ 青少年への奉仕 …………… RI研修リーダー フレデリック・ネダマイヤ
- ・ ロータリーの公共イメージはあなたから
…………… 公共イメージ支援グループG・C ボブ・エイトケン
- ・ リーダーシップ …………… 元RI会長 ルイス・ピセンテ・ジアイ

図らずもガバナーノミニーに推薦された時点で、ロータリーのあり方を自問自答してみました。誕生当時から100年を経過した現在、ロータリーを取り巻く環境も大分変わって来たように思われます。

例えば、RIと地区、地区とクラブ、ロータリーと地域、ロータリーとロータリアン、ロータリアンと正業とのあり方等の諸問題であります。

ガバナーは地区における唯一のRI役員であります。「ガバナーの責務・使命はRI会長のテーマ、強調事項を地区内54のロータリークラブに正確に伝達し、それを実行」しなければなりません。

本会議、セッションで元RI会長、研修リーダーより指導を頂いた事を、多くの仲間のガバナーエレクトと討議して身に付けた新しいロータリーの情報を、一年掛けて推進するために私の「テーマ・地区活動目標」を掲げさせていただきます。

2009-10年度 RI 強調事項

1. 「水対策」が第一の強調事項とされているのは、人間が第一に必要なものだからです。
 - ・ 水のないところに、きれいな水をもたらす
 - ・ 現在使われている所でも、その安全性を確かめる必要がある
 - ・ 過去20年間、このプロジェクトを継続している
2. 「保健と飢餓救済」は、多くのロータリー奉仕を含む分野です。
 - ・ 私達は、平和という大きな目標に向かっていくことを忘れてはならない。
 - ・ 一日中何も食べずに空腹のまま床に就く人々が大勢いる限り、世界に平和がもたされることはない。
3. 「識字率の向上」も私達の強調するところです。
 - ・ 将来、指導的立場に立つ者に、教育がなされていない国が成功することはあり得ない。

2007－10年度 RI 長期計画

- ・ポリオを撲滅する（最優先事項）
- ・ロータリーに対する内外の認識と、公共イメージを高める
- ・他者に奉仕する、ロータリーの能力の増大を図る
- ・質的にも量的にも、会員組織を世界的に拡大する
- ・ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調する
- ・国際ロータリー内の指導者才能を最大限に活用し育成する
- ・組織全体を通じて、継続性と一貫性を保つために、長期計画の手順を完全に実施する

2009－10年度 ガバナーテーマ

「今を大事に」 PRESENCE OF IMPORTANCE

私はジョン・ケニーRI会長のテーマ、強調事項を第2570地区に事業展開するために、本年度テーマを「今を大事に」と致しました。

一般社会では、60歳定年制（行政、企業等）があります。言い方を変えれば高齢者の時代に入る事をさしますが、幸い私たちは「家族と健康」に恵まれ「正業」に励む日々をおくっております。大変有り難いものであります。

しかし周りを見れば、65歳問題（退職後、年金で今まで出来なかった事をしたいという世代）、75歳問題（配偶者の介護や、寝たきりや、痴呆などの問題を抱えた世代）を抱えた同世代の人達も少なくありません。

幸い世の中で少しでも恵まれているロータリアンとして、今を大事に「今に向き合って精一杯生きる」事を心がけ、実践しなければ成らない使命があると信じ、残された生涯の自分へのテーマと致しました。

「一日の光陰は短しといえども、これを空しゅうする事なかれ、一夜を捨つるは、こは汝の命を減ずるなり」とあります。この意味は、「時間を無駄に過ごすことは、自分の命を捨てる事」と同様です。残された人生の時間を大切にしようではありませんか。

～地区活動目標～

1. あなたの手で、「ロータリー長期計画」を創ろう
2. 魅力ある組織、活性化を図る「クラブ支援」を行う
3. I.Mを中心に、「グループ別での研修会」の開催を支援
4. 地域から国際までの、「ボランティア活動」の推進
5. 次代を担う、「新世代へのプログラム」の充実を図る
6. 「ロータリー財団、米山奨学会」への理解と資金支援
7. ロータリーの原点「入りて学ぶ、出でて奉仕せよ」
8. 拡大ロータリー活動、広域ロータリー活動の推進

2009－10年度「地区重点プログラム」

今を大事に、諮問委員会、危機管理委員会、財務委員会へ問題を提起する

- ・会員の減少により、地区財政並びにクラブ財政が厳しい今日、ロータリーの組織の維持・発展を図るため、地区の長期・中期の計画を立案する。
- ・現在実施している日豪青年相互訪問事業を、RI危機管理委員会傘下の事業認可への働きかけをする。
- ・RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）を研究する。

今を大事に、「クラブ支援を最重要課題」として、組織の活性化を援助する

- ・援助を必要とするクラブでのCLP採用に伴う諸問題、及びロータリー組織全般に対応する、「組織・CLP対応委員会」の設置。
- ・会員基盤を維持・拡大し、「効果的なクラブ」をつくる支援。

今を大事に、会員増強（勧誘）と会員維持を計る

- ・各クラブで一人の会員純増を達成する。（RI目標）
- ・地区クラブ共、最低80%の会員維持率を死守。（RI目標）
- ・新クラブの拡大を図る。（RI地区目標）
- ・女性会員の割合を高める。
- ・専門職に従事する若年層（50歳以下）の会員の割合を高める。
- ・ロータリー財団の学友を少なくとも一人以上入会させる。
- ・会員構成に多様性を持たせる。（職業・性別・年齢等）

今を大事に、広報活動を徹底して、公共イメージをアップする

- ・メディア（マスコミ、CATV等）の活用。
- ・視聴覚を利用した広報活動を行う。
- ・地域社会の他の奉仕団体等と良好な関係を持つ。
- ・ロータリーの友を「書き、読む」の習慣を作る。
- ・地区の記録を纏め、次の「地区のあゆみ」の資料とする。
- ・ホームページの活用を奨励する。

今を大事に、ロータリー独自の職業奉仕への取り組みを強調する

- ・会員基盤の、「家庭、正業」としての大切さを誇張する。
- ・職業の倫理的規範を認識し、「四つのテスト」を普及する。
- ・会員事業所の家訓、社訓等を纏め、異業種の特色を知り生かそう。

今を大事に、「ウオッチ・ザ・地域社会」を推進し、地域に貢献しよう

- ・健康・福祉問題を例会や視察訪問として取り組みましょう。
- ・アイバンク「献眼登録、提供者」の継続事業を推進する。
- ・高校生社会体験活動を、昨年同様6校を対象として実施する。
- ・「さきたま古墳」を始め、秩父・川越等の古い町並みや、祭り行事等を世界遺産として後世に残すキャンペーンを計る。
- ・「緑」を取り戻す運動として、秩父に所在する「ロータリーの森」の植栽・管理の推進、新規として国道407号脇の杉の植栽・管理を地元推進団体と共催で行う。
- ・「清流」を取り戻すための第一歩として、河川汚濁の現況を知り、浄化活動の啓蒙運動を推進する。

今を大事に、ロータリーが目指す世界平和推進のため、国際貢献をしよう

- ・歴史ある「日豪青年相互訪問事業」の継続と内容改善を協議しながら、青少年の国際意識を高める。
- ・WCS事業として、途上国の識字率の向上を図るため、「書き損じハガキ」の回収事業をクラブに依頼する。
- ・WCS事業として、「ミャンマー文房具支援」、「地雷除去」他の事業の推進を図り、2月23日の「世界理解と平和の日」を例会で祝福して頂きたい。

今を大事に、新世代のための奉仕支援を推進する

- ・インターアクトクラブ、ローターアクトクラブの拡大・維持を図りながら、提唱クラブと協議しながら諸プログラムを推進する。
- ・ロータリー青少年指導者養成プログラム、RYLA (ROTARY YOUTH LEADERSHIP AWARDS) の推進及びライラ・デーの開催。
- ・国際理解と親善を学び、民間親善大使としての目標を持つ「青少年交換プログラム」の実施。

今を大事に、「ロータリー財団」事業を推進する

- ・ビル・ゲイツ財団より「ポリオ撲滅」の為、2億5千5百万ドルの新たな寄付により、1クラブ2,000ドルに目標が変更された。3年間の目標達成にチャレンジしましょう。
- ・R財団のプログラムへの直接参加をお願いします。
 - (1) 国際親善奨学生・世界平和フェロー
 - (2) 地区補助金プログラムの活用
- ・研究グループ交換 (GSE) 次年度派遣事業の準備。

今を大事に、「ロータリー米山奨学会」事業への支援をする

- ・過去の寄付実績により、本年度24名の奨学生が採用されました。一年間世話クラブには大変お世話になります。
- ・米山奨学会の趣旨を理解して下さい。本年度の寄付金目標を3,500万円としますので、各クラブ共目標を達成して下さい。

今を大事に、ブライダル事業を継続します

- ・事業復活後3年目になり、漸く成果も出てまいりました。本年もロータリアンの子弟や、ロータリアンが推薦して頂きました若者に、結婚の機会を作っていきます。

今を大事に、セミナー等を開催してクラブ(会員)の向上を支援する

- ・部門別セミナー、月間セミナー、グループ別各種研修会等を開催して、クラブへ適切な資料・情報を提供する。
- ・単独又は合同例会等に出向き、会員に必要な情報集会をサポートさせて頂く。

「今後の課題」として

1. クラブレベルを越えたロータリー (国際ロータリーと地区) を
1. ロータリーの目的は何か、原点に返り次なる世紀への道を模索する
1. クラブの活性化を図り、地域活力の原動力になるには

RI 会長モットー「夢をかたちに」を実践した、 偉大なるリーダー真下和男ガバナーの貢献を称える

国際ロータリー第 2570 地区

ガバナー 加藤 玄静

100年に一度の世界同時不況といわれる今日、ロータリーもけして例外でなく、厳しい環境の中での一年でありました。このような困難の時代に、真下和男ガバナーは2570地区2,000名の会員にガバナー指針を明確にして、ロータリーの進むべき道を間違いなく歩まれました。

国内34地区に共通する大きな問題の一つに、クラブ解散、会員減少があります。この原因でロータリーは、「地区組織・クラブ組織のあり方、地区・クラブの財政、他」大変困難な問題を抱えることになりました。

真下ガバナーは従来からの課題に付け加え正面からこれに取り組み、55クラブの会長・幹事、地区に於いてはガバナー補佐、部門委員長、委員長の中心となり、持ち前の明るさと決断力で見事にリーダーシップを発揮され、諸問題を解決に向け全精力を傾けました。

結果、時には壁に当たり相当苦しい思いもされたでしょうが、手始めに正業である公認会計士の職業倫理に基づき「隗より始め」で地区会計を見直すと同時に、クラブ負担の軽減を図ったことは、今後の

地区の礎に成ることと信じ、次年度を預かる責任者として、心から感謝申し上げます。

一方では、時代に沿った効果的な奉仕活動を数多く実践されました。特に年間を通して「新世代問題」に力を注ぎ、「ライラ・デー」や「地区大会」で大きな花を咲かせ、青少年教育に大きく貢献されました。この事業に参加した多くの新世代人は世界との架け橋となり、将来的にはロータリーが目指す「世界平和」を実現してくれるでしょう。

又、難しい地区運営に於きましては、鈴木勲二研修リーダーの御指導、竹間暎地区幹事を始め副幹事・事務局の西村氏、中里協弘実行委員長を中心とした地区大会関係者皆様方との「人の輪」に付け加え、真下ガバナーの英断を以て投じた一石は、今後のロータリーの存続に影響する大切なものであります。

しかしながら忘れてはいけないことは、ガバナーノミニ、エレクト時代を含めての3年間を支えた、「家庭での家族、事業所での社員、基盤となるクラブでの会員」の皆様の温かい支援であります。ガバナーを氷山の一角とするなら、目に見えない影の力が計りしれません。

この事をしっかりと自分自身に受け止めさせて頂き、次年度に継続させ最善を尽くしますので、今後とも御指導を宜しくお願い申し上げます。再度、真下和男ガバナーの功績を称え御慰労の言葉と致します。

加藤ガバナーのスタートに期待して

国際ロータリー第 2570 地区

直前ガバナー 真下 和男

世界的不況の中、新型インフルエンザが流行し、決して平穏な船出ではないでしょう。それに打ち勝てるのが加藤玄静さんを中心とする第2570地区のスタッフです。加藤さんは持ち前のバイタリティと青年会議所時代からの指導力と住職として幾多の人との対話で説得力にみがきがかかり、指導力抜群のガバナー誕生と周囲が大きな期待を寄せています。とりわけ強力な本庄ロータリークラブのサポート態勢は力強い地区運営の推進力を如何なく発揮してくれることでしょう。

しかし、ロータリーを取り巻く環境は年毎に厳しさを増し、クラブの格差が目立つようになり、小クラブはその維持にやっとの現況であり、その構成員の高齢化も目立って来ています。ロータリーを支える各会員の経済環境も苦戦を強いられている姿を多く見られるようになりました。この時こそロータリーの原点に立ち返りお互いに切磋琢磨し、友情を深め、各自の足元をしっかりとさせ、その余力をロータリーの為に捧げることに心がけたいものです。

その真価を問われる年度が加藤年度であり、それ

に込められる加藤ガバナーの誕生に心から声援をおくりたいです。国際ロータリー理事会が承認した長期計画には次の7つの優先項目が含まれています。①ポリオを撲滅する（最優先事項）、②ロータリーに対する内外の認識と、公共イメージを高める、③他者に奉仕する、ロータリーの能力の増大を図る、④質的にも量的にも、会員組織を世界的に拡大する、⑤ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調する、⑥国際ロータリー内の指導者才能を最大限に活用し育成する、⑦組織全体を通じて、継続性と一貫性を保つために、長期計画の手順を完全に実施するとあり、私の年度と殆ど変わらない優先事項ですが、国際ロータリーはそれだけ継続的に実施しなければならない事項と認識しているものです。

これらを実施するには加藤ガバナーの提唱する「今を大事に」が肝要な心構えでしょう。伝統ある第2570地区の維持発展に力を出し、皆さんが「今を大事に」ロータリーの理想実現に頑張ってください。

2009 - 10 年度 役員紹介

地区諮問委員



福島 良治
(深谷 R C)
[1984 - 85年度]



飯野 行雄
(川越小江戸 R C)
[1990 - 91年度]



今泉 清詞
(川越 R C)
[1993 - 94年度]



田中 一郎
(坂戸 R C)
[1994 - 95年度]



金子 千侍
(秩父 R C)
[1995 - 96年度]



大館 清次
(朝霞 R C)
[1996 - 97年度]



寺山 栄一
(深谷東 R C)
[1997 - 98年度]



梅沢 定彦
(所沢 R C)
[1999 - 2000年度]



高橋 福八
(本庄 R C)
[2000 - 01年度]



小池 英輔
(行田 R C)
[2001 - 02年度]



高山 孝
(坂戸 R C)
[2003 - 04年度]



橋田弥寿男
(深谷 R C)
[2004 - 05年度]



野中 弘之
(熊谷東 R C)
[2005 - 06年度]



鈴木 勲二
(和光 R C)
[2006 - 07年度]



石川 嘉彦
地区研修リーダー
(入間 R C)
[2007 - 08年度]

ガバナーエレクト

ロータリーの友委員

地区幹事



真下 和男
(東松山 R C)
[2008 - 09年度]



西川武重郎
(志木 R C)



橋本 正彦
(朝霞 R C)



真下 恵司
(本庄 R C)

地区支援グループコーディネーター



《保健と飢餓救済》
野中 弘之
(熊谷東RC)



《水対策》
田部井 荘
(深谷RC)



《識字率の向上》
小久保富夫
(新狭山RC)



クラブ奉仕
栗山 昇
(朝霞RC)



職業奉仕
新井 弥男
(所沢RC)

地区部門委員長



社会奉仕プロジェクト
金子 圭典
(鶴ヶ島RC)



国際奉仕
茂木 正
(本庄RC)



新世代
野口 健吉
(東松山むさしRC)



ロータリー財団
小池 貞作
(寄居RC)



米山奨学
大澤 衛
(和光RC)

地区委員長



地区研修
浅田 進
(本庄南RC)



組織・CLP 対応
栗山 昇
(朝霞RC)



会員増強
山口 茂
(熊谷南RC)



広報・記録
井花 富男
(新狭山RC)



職業奉仕
渡辺 栄一
(行田RC)



職業倫理
平岡 達也
(入間RC)



健康・福祉
花家 孝之
(日高RC)



高校生社会体験活動
山崎 嘉正
(川越RC)



世界遺産登録推進
鈴木 秀憲
(吹上RC)



環境・緑化
木藤 文雄
(坂戸RC)



日豪青年相互訪問
大館 廣
(所沢中央RC)



世界社会奉仕
平岡 徳大
(所沢西RC)



アクト
森田 光一
(東松山むさしRC)



青少年交換
中川 正明
(東松山RC)



ライラ
藤島 弘士
(越生毛呂RC)



R財団推進・補助金
柴崎 典一
(深谷RC)



R財団奨学学友
松本 光司
(坂戸さつきRC)



R財団世界平和フェロー
福山 健朗
(川越小江戸RC)



GSE
吉田 靖夫
(志木RC)



米山奨学推進
鍛冶田宙一
(坂戸RC)



米山奨学学友
井上 豊
(秩父RC)



財務
竹間 映
(東松山RC)



ブライダル
磯田 力彦
(新所沢RC)



On To モントリオール
茂木 正
(本庄RC)

2009 - 10年度 ガバナー補佐・会長・幹事の紹介

グループ	ガバナー補佐	R C 名	会 長	幹 事	
第1グループ	西澤 孝夫 (越生毛呂) 11RC		川 越	小谷野 和博	西澤 堅
			東 松	江野 祐一郎	杉田 光夫
			小 川	松矢 紀吉	柴 修二
			坂 戸	荻野 敏博	井伊 京一郎
			越 生	丸山 公晴	宮寺 守正
			川 越	福山 健朗	発智 金一郎
			川 越	野原 正次郎	武藤 康弘
			鶴 ケ	清水 良一	安井 せつ子
			川 越	中野 俊明	内田 卓之
			坂 戸	岡部 みゆき	梅澤 將明
			東 山	関口 和裕	柳下 武司
第2グループ	西川 武重郎 (志木) 9RC		朝 霞	野澤 巳津男	荒木 和之
			上 福	土屋 哲雄	菊地 博之
			志 木	名畑 豊文	清水 和之
			富 士	坂本 元彦	山城 盛行
			新 座	増田 真一	篠宮 伸介
			和 光	並木 孝喜	池田 慎介
			朝霞	高橋 悦次郎	醍醐 清子
			志 木	深澤 隆之	片桐 靖子
			新 座	永井 彧男	小松 とし子
			入 間	細淵 克則	山 岸 義弘
			第3グループ	佐藤 信男 (狭山) 12RC	
飯 能	木川 一男	山 川 荘太郎			
狭 山	岡本 久之	田 中 滋晃			
新 所	目黒 誠文	鹿島 敏男			
日 高	高木 泰文	奥 田 俊介			
所 沢	西本 橋正夫	山 田 富男			
新 狭	東 喜代雄	齋 藤 修司			
所 沢	野 本 俊光	平 岡 栄一			
入 間	荻野 静次	石 川 伸一			
所 沢	鈴木 秀敏	荻野 敏一			
狭 山	小幡 直樹	沼崎 正徳			
第4グループ	武田 哲 (深谷東) 12RC		深 谷	吉田 真人	吉田 勝敏
			本 庄	田中 克	今 泉 治
			秩 父	長谷川 茂	阪 本 昇寿
			寄 居	佐橋 正行	山 口 正彦
			尾 玉	倉林 敏澄	阿 部 博行
			岡 部	吉田 恒	橋 本 和行
			深 谷	栗原 敏朗	横 田 健治
			上 里	丸山 和也	松 本 寛
			川 本	尾関 三代司	野 邊 利正
			皆 野	山田 利明	黒 澤 徳樹
			本 庄	山田 勝治	小 松 敏政
第5グループ	細井 保雄 (行田さくら) 10RC		熊 谷	上 林 寛	大 島 伸夫
			行 田	富田 久雄	持 田 朋春
			羽 生	高橋 実	平 野 賢治
			加 須	片山 秀丈	堀 越 康司
			熊 谷	田代 充雄	村 山 廣道
			行 田	新井 啓介	鳥 崎 義春
			熊 谷	井 桁 憲治	吉 田 繁浩
			吹 上	丸岡 章二	神 庭 定弘
			熊 谷	加賀崎 進	中 村 藤
			熊 谷	棚 澤 正行	渡 邊 藤

◆2009-10年度 国際ロータリー第2570地区 組織表

R.I会長 ジョン・ケニー (スコットランド)	ガバナー
R.I理事 黒田 正宏 (八戸南)	加藤 玄静 (本 庄)

米山記念奨学会	
副理事長 PG 金子 千侍 (秩 父)	
評議員 加藤 玄静 (本 庄)	
〃 西川武重郎 (志 木)	

ロータリーの友委員会	
地区委員 橋本 正彦 (朝 霞)	

地区支援グループコーディネーター	
保健と飢餓救済 野中 弘之 (熊谷東)	
水対策 田部井 荘 (深 谷)	
識字率の向上 小久保富男 (新狭山)	

危機管理委員会	
学識経験者 小林 節 (大妻嵐山校長)	
マスコミ 岩崎 勝義 (テレビ埼玉代表)	
ロータリー 石川 嘉彦 (パストガバナー)	
医師 関 靖子 (新座RC)	
弁護士 矢部 喜明 (熊谷南RC)	

諮問委員	
福島 良治 (深 谷)	
飯野 行雄 (川越小江戸)	
今泉 清詞 (川 越)	
田中 一郎 (坂 戸)	
金子 千侍 (秩 父)	
大館 清次 (朝 霞)	
寺山 栄一 (深谷東)	
梅沢 定彦 (所 沢)	
高橋 福八 (本 庄)	
小池 英輔 (行 田)	
高山 孝 (坂 戸)	
橋田 弥寿男 (深 谷)	
野中 弘之 (熊谷東)	
鈴木 勲二 (和 光)	
石川 嘉彦 (入 間)	
真下 和男 (東松山)	

地区運営会議構成員 (非常設)
ガバナーの推薦する者

ガバナー補佐	
第1グループ	西澤 孝夫 (越生毛呂)
第2グループ	西川武重郎 (志 木)
第3グループ	佐藤 信男 (狭 山)
第4グループ	武田 哲 (深 谷 東)
第5グループ	細井 保雄 (行田さくら)

第1グループ	第2グループ	第3グループ
11RC	9RC	12RC
川 越 川越西 東松山 鶴ヶ島 小 川 川越中央 坂 戸 坂戸さつき 越生毛呂 東松山むさし 川越小江戸	朝 霞 朝霞キャロット 上福岡 志木柳瀬川 志 木 新座こぶし 富士見 新 座 和 光	入 間 所沢西 所 沢 新狭山 飯 能 所沢東 狭 山 入間南 新 所 所沢中央 日 高 狭山中央

第4グループ	第5グループ
12RC	10RC
深 谷 深谷東 本 庄 上 里 秩 父 川 本 寄 居 皆野・長壽 児 玉 本 庄 南 岡 部 深谷ノース	熊 谷 熊谷東 行 田 吹 上 羽 生 熊谷籠原 加 須 熊 谷 南 熊 谷 西 行田さくら

クラブ奉仕部門	
PG 真下 和男 (東松山)	
☆ 栗山 昇 (朝 霞)	
組織・CLP対応委員会	
◎ 栗山 昇 (朝 霞)	
○ 立原 雅夫 (川 越)	
○ 小林 公男 (狭 山)	
岡崎 正六 (本 庄)	
森田 光彰 (熊谷籠原)	
会員増強委員会	
◎ 山口 茂 (熊谷南)	
○ 諸貫 健一 (行 田)	
田原 一郎 (朝 霞)	
水村 雅啓 (入 間)	
黒瀬 進 (寄 居)	
寺田 喜光 (深谷東)	
広報・記録委員会	
◎ 井花 富男 (新狭山)	
○ 渡辺 道雄 (鶴ヶ島)	
長沼 章 (本 庄南)	
長谷川貴春 (熊 谷)	
蛭川 義男 (熊谷籠原)	
(担当：洪澤健司)	

職業奉仕部門	
PG 鈴木 勲二 (和 光)	
☆ 新井 弥男 (所 沢)	
職業奉仕委員会	
◎ 渡辺 栄一 (行 田)	
○ 中沢 実 (熊 谷)	
細田 優 (朝 霞)	
国安 隆之 (新座こぶし)	
岩崎 茂 (入 間)	
職業倫理委員会	
◎ 平岡 達也 (入 間)	
○ 福嶋 弘 (児 玉)	
栗原 平 (富士見)	
大館 則夫 (所 沢)	
横川 福治 (行田さくら)	
小澤 司和 (羽 生)	
(担当：坂本雄一)	

社会奉仕プロジェクト部門	
PG 野中 弘之 (熊谷東)	
☆ 金子 圭典 (鶴ヶ島)	
健康・福祉委員会	
◎ 花家 孝之 (日 高)	
○ 木村 公一 (坂 戸)	
久保 房三 (川 本)	
森 弘一 (熊谷西)	
高校生社会体験活動委員会	
◎ 山崎 嘉正 (川 越)	
○ 岡野 元昭 (新 座)	
柳田 政男 (富士見)	
五十子寿彦 (狭 山)	
山崎 眞二 (入間南)	
宮根 健治 (川越西)	
庄内 邦雄 (熊谷西)	
五十嵐敦子 (本 庄)	
世界遺産登録推進委員会	
◎ 鈴木 秀憲 (吹 上)	
○ 三上 一郎 (秩 父)	
小林 一好 (行 田)	
川柳 勝一 (熊谷東)	
神庭 浩 (吹 上)	
服部 信利 (加 須)	
環境・緑化委員会	
◎ 木藤 文雄 (坂 戸)	
○ 田中 八東 (狭山中央)	
岡野 一好 (深 谷)	
大野 栄治 (志 木)	
関 敏夫 (日 高)	
清水 純一 (坂戸さつき)	
松崎 峰夫 (鶴ヶ島)	
(担当：江積栄一)	

国際奉仕部門	
PG 高橋 福八 (本 庄)	
☆ 茂木 正 (本 庄)	
日豪青年相互訪問委員会	
◎ 大館 廣 (所沢中央)	
○ 長沢 友雄 (新所沢)	
原口 茂治 (東松山むさし)	
飯田 富夫 (志 木)	
吉山 純一 (和 光)	
鳥居由美子 (所 沢)	
金子 章 (本 庄)	
世界社会奉仕委員会	
◎ 平岡 徳大 (所沢西)	
○ 新島 修一 (深谷ノース)	
星野 博之 (志 木)	
金子 幸男 (新 座)	
柴田 讓 (狭山中央)	
古市 貴文 (熊谷籠原)	
(担当：金子 章)	

ガバナーエレクト	
西川武重郎	(志 木)

R I 研修リーダー	松本茂太郎 (福山)
〃	石黒 慶一 (鶴岡)
〃	仲田 昌弘 (鎌倉)

地区幹事・地区副幹事	
幹 事	真下 恵司 (本 庄)
副 幹 事	高柳 育行 (本 庄)
〃	茂木 聡 (本 庄)
〃	佐藤 賀則 (本 庄)
〃	渋澤 健司 (本 庄)
〃	坂本 雄一 (本 庄)
〃	江積 栄一 (本 庄)
〃	金子 章 (本 庄)
〃	温井 一英 (本 庄)
〃	杉山 淑子 (本 庄)
〃	坂本 優蔵 (本 庄)
〃	大野 栄治 (志 木)
〃	巴 高志 (本 庄)

地区大会	
大会委員長	春山 茂之 (本 庄)
実行委員長	渋谷 修身 (本 庄)
実行副委員長	矢島 淳一 (本 庄)
〃	横尾 セツ (本 庄)
〃	八木 茂幸 (本 庄)
〃	萩原 達夫 (本 庄)
〃	石原 修 (本 庄)
〃	倉林 敏澄 (児 玉)
〃	木村 達夫 (上 里)
〃	山田 勝治 (本 庄南)
大会幹事	佐藤 賀則 (本 庄)
大会 SAA	内野昭 八郎 (本 庄)
〃	梅村 孝雄 (本 庄)
〃	野村 正行 (本 庄)
ゴルフ大会会長	岡崎 正六 (本 庄)
ゴルフ大会副会長	武井 包光 (本 庄)
実行委員長	橋本 恒男 (本 庄)
コ・ホストクラブ 児玉 上里 本庄南	
大会相談役	ガバナー補佐
大会推進委員	クラブ会長

地区研修リーダー	石川 嘉彦 (入間)
----------	------------

地区研修委員会	
委 員 長	浅田 進 (本 庄南)
委 員	阿部晋一郎 (富士見)
〃	弓田 勝俊 (越生毛呂)
〃	古屋 一生 (熊谷西)

財務委員会	
委 員 長	竹間 暎 (東松山)
委 員	繁田 昌利 (入 間)
委 員	大澤 衛 (和 光)
会 計	矢島 淳一 (本 庄)
監 査	蛭川 俊也 (熊谷東)

On To モントリオール	
委 員 長	茂木 正 (本 庄)
副 委 員 長	内田 栄信 (志 木)

地区協議会ホストクラブ	
岡部ロータリークラブ	
会長	吉田 恒
実行委員長	松山 義則

ブライダル委員会	
委 員 長	磯田 力彦 (新所沢)
副 委 員 長	醍醐 治江 (志木柳瀬川)
委 員	照井 幸子 (川越西)
〃	丹羽ひさえ (新 座)
〃	畑中 教一 (所沢中央)
〃	橋原 輝見 (所沢西)
〃	宮前 典子 (鶴ヶ島)
〃	巴 高志 (本 庄)

新世代部門	
PG	小池 英輔 (行 田)
☆	野口 健吉 (東松山むさし)
アクト委員会	
◎	森田 光一 (東松山むさし)
○	市川 二郎 (深 谷)
	石川 昇 (川 越)
	武藤 典夫 (志 木)
	福田 昭 (上福岡)
青少年交換委員会	
◎	中川 正明 (東松山)
○	宮原 克平 (志 木)
	奥平 長康 (小 川)
	神田 仁 (越生毛呂)
	小暮 博文 (所沢西)
	堀口 孝利 (本庄南)
	新井 裕喜 (羽 生)
	矢澤 大和 (行田さくら)
ライラ委員会	
◎	藤島 弘士 (越生毛呂)
○	島田 敏郎 (富士見)
	小川 唯一 (越生毛呂)
	宇津木 智 (東松山むさし)
	坂間 智子 (志木柳瀬川)
	秋山 和茂 (岡 部)
	山本 憲作 (行 田)
(担当：温井一英)	

ロータリー財団部門	
PG	橋田弥寿男 (深 谷)
☆	小池 貞作 (寄 居)
R財団推進・補助金委員会	
◎	柴崎 典一 (深 谷)
○	内山 俊夫 (行 田)
	高野 邦夫 (志 木)
	岡本比呂志 (新 座)
	廣瀬 勝俊 (深谷東)
	吉田 恒 (岡 部)
R財団奨学学友委員会	
◎	松本 光司 (坂戸さつき)
○	今泉 博 (川 越)
	高橋健一郎 (志 木)
	平井 博 (深谷ノース)
	益子 道男 (児 玉)
	澤田 将信 (熊谷南)
世界平和フェロー担当	
	福山 健朗 (川越小江戸)
GSE委員会	
◎	吉田 靖夫 (志 木)
○	間庭 崇 (熊谷東)
	平岡勲一郎 (入 間)
	吉田 勝敏 (深 谷)
	関口 礼子 (本 庄)
(担当：杉山淑子)	

米山奨学部門	
PG	梅沢 定彦 (所 沢)
☆	大澤 衛 (和 光)
米山奨学推進委員会	
◎	鍛冶田宙一 (坂 戸)
○	吉崎 秀夫 (川 越)
	上野 廣 (東松山)
	奥田 功次 (富士見)
	吉永 章子 (入 間)
	戸谷 全克 (本庄南)
	井上 博司 (行田さくら)
米山奨学学友委員会	
◎	井上 豊 (秩 父)
○	長岡 倉雄 (皆野長瀬)
	西村優香子 (坂戸さつき)
	柴山 高一 (所沢中央)
	坂本 優蔵 (本 庄)
	加藤 睦夫 (熊谷西)
(担当：坂本優蔵)	

<敬称略>
PG …… アドバイザー
☆ …… 部門委員長
◎ …… 委員会委員長
○ …… 委員会副委員長



国際ロータリー第2570地区 2009-10年度地区予算



款	区 分		摘要 (円×人)
	項	目	
【収入の部】			
1. 分担金	ロータリアン分担金	54,990,000	28,200×1,950人
2. 雑収入	雑収入 前年度繰越金	10,000	
収入合計		55,000,000	
【支出の部】			
1. 外部分担金		975,000	
	①ロータリー連絡費	390,000	200×1,950人
	②ロータリー文庫運営費	585,000	300×1,950人
2. 地区管理運営費		38,500,000	
	①地区大会分担金	15,600,000	8,000×1,950人
	②地区協議会運営費	1,800,000	920×1,950人
	③エレクト事務所開設費	5,000,000	
	④ガバナー事務所運営費	8,500,000	4,360×1,950人
	⑤ガバナー月信発行費	4,200,000	
	⑥会議費及び資料作成費	2,500,000	
	⑦雑費	200,000	
	⑧予備費	700,000	
3. 地区活動費		15,525,000	
	①クラブ奉仕部門	500,000	
	組織・CLP対応委員会	100,000	
	会員増強委員会	100,000	
	広報・記録委員会	200,000	
	部門セミナー費	100,000	
	②職業奉仕部門	300,000	
	職業奉仕委員会	100,000	
	職業倫理委員会	100,000	
	部門セミナー費	100,000	
	③社会奉仕プロジェクト部門	900,000	
	健康・福祉委員会	100,000	
	高校生社会体験活動委員会	100,000	
	世界遺産登録推進委員会	100,000	
	環境・緑化委員会	500,000	
	部門セミナー費	100,000	
	④国際奉仕部門	1,800,000	
	日豪青年相互訪問委員会	1,700,000	
	世界社会奉仕委員会	100,000	
	⑤新世代部門	4,900,000	
	アクト委員会	850,000	440×1,950人
	青少年交換委員会	1,600,000	
	ライフ委員会	500,000	
	青少年活動費	1,950,000	1,000×1,950人
	⑥ロータリー財団部門	950,000	
	R財団推進・補助金委員会	200,000	
	R財団奨学学友委員会	600,000	
	GSE委員会	50,000	
	部門セミナー費	100,000	
	⑦米山奨学部門	350,000	
	米山奨学推進委員会	150,000	
	米山奨学学友委員会	100,000	
	部門セミナー費	100,000	
	⑧合同役員会	1,500,000	
	⑨通信費	1,100,000	
	⑩会場費	900,000	
	⑪GSE特別会計繰入金	700,000	
	⑫特別委員会	200,000	
	⑬プライダル委員会	200,000	
	⑭地区史編算繰入金	200,000	
	⑮雑費	350,000	
	⑯予備費	675,000	
支出合計		55,000,000	



区 分	金 額
ロータリー連絡委員会費	100円
ロータリー文庫運営費	150円
地区大会分担金	4,000円
地区協議会その他運営費	1,200円
ガバナー事務所運営費	2,250円
地区運営費	2,080円
ローターアクト活動費	150円
インターアクト活動費	170円
青少年活動費(海外派遣費等)	900円
地区奉仕活動費	3,100円
合 計	14,100円

区分	項 目	年額 / 1人	摘 要	納 入 方 法			納 入 送 金 先	報 告 先	
				期区分	金 額	期 日			
国際ロータリー関係	規定審議会費	\$1	7月のみ		\$1×会員数	2009.7.1	三井住友銀行 新宿通支店 (普通) 6733244 国際ロータリー 日本事務局 事務局長 大島四郎 [原] 国際ロータリー 日本事務局 (経理部) TEL 03-3903-3183 FAX 03-3903-3781 [写] ガバナー事務所		
	RI人頭分担金	2009.7.1 現在会員	\$49	半期ごと	上期	\$24.5×会員数		2009.7.1	
		2010.1.1 現在会員		下期	\$24.5×会員数	2010.1.1			
		比例人頭分担金(中途入会)	1ヶ月につき12分の1	在籍丸1ヶ月ごとに\$4		請求に基づき半期ごとにまとめて		2010.1.1 2011.7.1	
	RI機関紙 The Rotarian	\$24		標準定款第14条を参照	上期	\$12×購買部数		2009.7.1	
	R財団寄付	ポール・ハリス・フェロー	\$1,000						三井住友銀行 本店営業部 (普通) 0968049 <または> 三菱東京 UFJ 銀行 本店 (普通) 1528228 国際ロータリー 日本事務局 事務局長 大島四郎
		マルチプル・ハリス・フェロー	\$1,000追加毎						
		財団の友	初回\$100以上	毎年\$100以上				随 時	
		クラブ寄付	いくらでも	クラブで集めてクラブ名で行う寄付					
		ベネファクター	\$1,000以上	R財団恒久基金への寄付					
		会員協力寄付金	\$30以上	半期ごと\$15以上		上期 \$15以上×会員数 下期 \$15以上×会員数		7月中 1月中	
	用途指定寄付(チャレンジ)	\$50以上	半期ごと\$25以上		上期 \$25以上×会員数 下期 \$25以上×会員数	上期中 下期中			
パーマメントファンド	\$20以上	半期ごと\$10以上		上期 \$10以上×会員数 下期 \$10以上×会員数	上期中 下期中				
<p>※20万円以上の寄付(個人または法人)で「税制上の優遇処置扱い寄付」を希望される方は下記へお振込みください。 三井住友銀行本店営業部 普通預金 No.8719834 国際ロータリー日本事務局 日本ロータリー奨学金委員会 所長 大島 四郎 ※年次寄付・恒久基金寄付(個人または法人)で10万円以上20万円未満の寄付をされる方は下記へお振込みください。 三菱東京UFJ銀行 赤羽支店 普通預金 No.1568210 特定非営利活動法人 ロータリー日本財団 理事 岩井 敏</p>									
米ドル建振込 三井住友銀行 新宿通支店 (普通) 0000167 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島 四郎									
友関係	ロータリーの友	¥2,520×購買部数 中途入会者は月割1部¥210		上期	¥1,260	2009.7.1	(申込先) ロータリーの友 事務局		
				下期	¥1,260	2010.1.1			
米山記念奨学会	普通寄付金	¥4,000以上	増額の場合は¥500単位で	上期	¥2,000以上×会員数	2009.7.1	三井住友銀行 京橋支店 (普通) 0920373 (財)ロータリー 米山記念奨学会		
	特別寄付金	第1回米山功労者	¥100,000		下期	¥2,000以上×会員数		2010.1.1	
		第2~9回米山功労者マルチプル	¥200,000 ~ ¥900,000						
		第10回米山功労者メジャードナー	¥1,000,000以上						
		準米山功労法人	¥50,000以上 [累計] 35万円で功労法人						
		米山功労法人	¥350,000以上 [累計]						
米山特別功労法人	1回¥1,000,000以上 又は米山功労法人3回で105万円に達する毎 [累計]								
地区関係	地区分担金(1名当り分担金)	¥28,200		上期	¥14,100×会員数	2009.7.1	ガバナー事務所 TEL 0495-22-8035 FAX 0495-22-8036		
				下期	¥14,100×会員数	2010.1.1			

※三井住友銀行 本 店 TEL : 03-3501-1112 三菱東京UFJ銀行 本 店 TEL : 03-3240-1111
京橋支店 TEL : 03-3561-3191 赤羽支店 TEL : 03-3901-5121
浜松町支店 TEL : 03-3436-2781 足利銀行 本庄支店 TEL : 0495-21-2411
新宿通支店 TEL : 03-3352-4131 ※各種明細書にお振込みの明細を記入ください。

〈 ガバナー公式訪問 〉

2009年	7月	8月	9月	10月	11月
1	水	土	火 所沢RC 新所沢RC・夜間	木	日
2	木	日	水 志木RC	金 富士見RC	月
3	金	月	木 皆野・長瀬RC	土	火 文化の日
4	土	火 日高RC	金	日	水
5	日	水 熊谷東RC	土	月 所沢中央RC	木
6	月	木	日	火	金 所沢西RC
7	火	金	月	水 上里RC	土
8	水	土	火 深谷RC・岡部RC ・深谷ノースRC合同	木	日
9	木	日	水 寄居RC	金 志木柳瀬川RC	月 熊谷西RC
10	金	月 川越中央RC	木	土	火 児玉RC
11	土	火	金 狭山RC	日	水 新座こぶしRC
12	日	水	土	月 体育の日	木 東松山RC・小川RC・ 東松山むさしRC合同
13	月	木	日	火 吹上RC	金
14	火	金	月 朝霞キャロットRC	水	土
15	水	土	火 越生毛呂RC	木 行田RC	日
16	木	日	水 川越西RC	金 深谷東RC	月
17	金	月	木 新座RC	土	火
18	土	火 朝霞RC	金 川越小江戸RC	日	水
19	日	水 飯能RC	土	月 本庄南RC	木
20	月 海の日	木	日	火 行田さくらRC	金
21	火 川越RC	金	月 敬老の日	水 熊谷籠原RC 熊谷南RC・夜間	土
22	水 上福岡RC	土	火 国民の休日	木 所沢東RC	日
23	木 入間RC	日	水 秋分の日	金	月 勤労感謝の日
24	金	月	木	土	火 秩父RC
25	土	火 入間南RC	金 熊谷RC	日	水
26	日	水 鶴ヶ島RC	土	月 新狭山RC	木 本庄RC
27	月	木	日	火 狭山中央RC	金
28	火 羽生RC	金 和光RC	月	水	土
29	水 加須RC	土	火 川本RC	木	日
30	木 坂戸RC・坂戸さつきRC 合同	日	水	金	月
31	金	月		土	

(((会員増強セミナー開催)))

—— 次年度会長並びに会員増強担当者を対象に ——



去る6月6日(土)、次年度に向けての「会員増強セミナー」が、本庄市「埼玉グランドホテル」で開催。このテーマは1月の国際協議会でも真剣に討議された、ロータリーにおいての最大関心事である。

当日は、会長エレクト並びに次年度クラブ担当者を対象に、二つのテーマに絞リグループ討議方式で行われた。

真下ガバナー、加藤ガバナーエレクト始め、次年度役員として石川研修リーダー、栗山クラブ奉仕部門委員長、山口会員増強委員長、委員会メンバー、ガバナー補佐、新設の研修

委員会のメンバーを座長に活発な意見交換がされた。

「会員増強」と同時に、「会員維持」の問題、「会員の多様性」についての必要性も指摘された。尚、このセミナーは年度前に開催する事で、次年度の地区、クラブに生かすようにガバナーエレクトが指導を受けている重要なセミナーである。

加藤ガバナー年度 よろしくお願いたします

100年に一度といわれる世界的な経済危機の中で準備を進めてまいりました。この間、研修リーダー・地区研修委員の皆様をはじめ、ガバナー補佐、部門委員長の皆様方には、各種研修セミナー、PETS、地区協議会等々におきましてご指導ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

いよいよ加藤ガバナー年度がスタートいたします。ガバナーは地区のテーマを「今を大事に」として、「今に向き合って精一杯生きる」事を心がけ、実践していかねばならないと申しております。

1クラブ減り、54クラブ、1900名台のスタートとなり、大変に厳しい財政状況になりますが、まずは「全てを大事に」事務所経費の



地区幹事 真下 恵司

節約に努めると共に効率的、効果的な財政運営を心掛けてまいります。

地区幹事として、黒子に徹し、主役になれる皆様方の後押しをさせていただき所存であります。未熟ではありますが、副幹事、事務局員共々、全員野球で情熱を持って事業運営、各クラブとの連絡調整に取り組んで参りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願申し上げます。

地区副幹事



月信担当
高柳 育行
(本庄RC)



日程担当
茂木 聡
(本庄RC)



総務担当
佐藤 賀則
(本庄RC)



クラブ奉仕部門担当
渋澤 健司
(本庄RC)



職業奉仕部門担当
坂本 雄一
(本庄RC)



社会奉仕部門担当
江積 栄一
(本庄RC)



国際奉仕部門担当
金子 章
(本庄RC)



新世代部門担当
温井 一英
(本庄RC)



ロータリー財団部門担当
杉山 淑子
(本庄RC)



米山奨学部門担当
坂本 優蔵
(本庄RC)



事務局担当
巴 高志
(本庄RC)



ガバナーエレクト担当
大野 栄治
(志木RC)

地区大会役員



大会委員長
春山 茂之
(本庄RC)



大会実行委員長
渋谷 修身
(本庄RC)



大会実行副委員長
矢島 淳一
(本庄RC)



大会実行副委員長
横尾 セツ
(本庄RC)



大会実行副委員長
八木 茂幸
(本庄RC)



大会実行副委員長
萩原 達夫
(本庄RC)



大会実行副委員長
石原 修
(本庄RC)



大会実行副委員長
倉林 敏澄
(児玉RC)



大会実行副委員長
木村 達夫
(上里RC)



大会実行副委員長
山田 勝治
(本庄南RC)



大会幹事
佐藤 賀則
(本庄RC)



記念ゴルフ大会会長
岡崎 正六
(本庄RC)

7月のスケジュール		
1	水	ガバナー会：グランドプリンスH高輪
2	木	R財団地域セミナー：グランドプリンスH高輪
3	金	
4	土	第1回諮問委員会・地区役員合同会議：埼玉グランドホテル本庄
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	米山奨学部門セミナー：紫雲閣（東松山市）
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	職業奉仕部門セミナー：本庄商工会議所
19	日	
20	月	海の日
21	火	公式訪問－川越RC
22	水	公式訪問－上福岡RC
23	木	公式訪問－入間RC
24	金	
25	土	クラブ奉仕部門セミナー：埼玉グランドホテル本庄
26	日	
27	月	
28	火	公式訪問－羽生RC／深谷地区5クラブ合同例会
29	水	公式訪問－加須RC／第4グループ第1回会長幹事会
30	木	公式訪問－坂戸RC・坂戸さつきRC合同
31	金	

8月のスケジュール		
1	土	
2	日	インターアクト年次大会：狭山ヶ丘高校
3	月	
4	火	公式訪問－日高RC
5	水	公式訪問－熊谷東RC
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	公式訪問－川越中央RC
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	公式訪問－朝霞RC
19	水	公式訪問－飯能RC
20	木	
21	金	
22	土	社会奉仕プロジェクト部門セミナー：国立女性教育会館
23	日	
24	月	
25	火	公式訪問－入間南RC
26	水	公式訪問－鶴ヶ島RC
27	木	
28	金	公式訪問－和光RC
29	土	
30	日	米山記念奨学会第1回評議員会
31	月	

文庫通信 (261号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演と卓話から

- ◎「私の出会った素敵な人たち」 福島敦子 2008 13p (D.2520)
- ◎「子どもの心を豊かに」 松本壽通 2008 12p (D.2700)
- ◎「日本の教育に欠けているもの」 石坂公成 2009 5p (D.2800)
- ◎「日本のこれから、日本人のこれから」 藤原正彦 2008 6p (D.2600)
- ◎「高齢社会とサクセスフル・エイジング」 井村裕夫 2009 11p (D.2690)
- ◎「夢・宇宙」 山崎直子 2009 7p (D.2590)
- ◎「世界平和をめざす国際貢献」 佐藤正久 2009 2p (D.2770)
- ◎「人の縁」 山本一力 2008 12p (東京六本木R.C.)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー／PDF)]

【ロータリー文庫】

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
 TEL：03-3433-6456 FAX：03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 ■開館 午前10時～午後5時 ■休館 土・日・祝祭日